

ゴールデンウィークの憲法記念日・正午ごろ、京都祇園・大和大路を歩いてみた。

京都屈指の繁華街であるところに祝日、気候も良く。雨の気配もなくなったばかりだったので、人通り多数。

買い物客や観光客がわんさといた。なぜか子供の姿だけは見なかったが。

西には南座が、東の突き当りには八坂神社がどっしりと構えている。

事件や事故とは無縁としか思えない、平和を絵にかいたような休日の場面が広がっていた。

…こんなことは、わざわざ書いても仕方がない。バスガイドや人力車にまかせておけばいい。

4月12日13時05分に、アクティバンをパニック暴走させ、7人の犠牲者に自爆した現場について書くのがここでの事だ。

四条通交差点手前で、前歯が欠けた初老の運転手が運転していたタクシーに前からぶつけた後、パニックになって前に暴走し、交差点手前で歩行者1人、交差点で5人、料亭前で自転車に乗る人がクルマと電柱に挟まれ…その現場だ。



5人が亡くなった交差点。北から南方向を写している。

5mほどの横断歩道に信号待ちをする人が10名ほどいた。

警官が3名写っているので、「すわ、特別警戒か」と勘違いしそうになってしまった。

死角になる東北の角には交番がある。

警官は単に四条通を渡るための信号待ちだった。



東方向を写した。  
突き当りには八坂神社がある。





交差点を渡って、四条通の反対側へ。

街路灯の足元には花が手向けられていた。悲しい。

もっとも、この交差点で花を手向けられるところは、四条通から少し奥に入った両側の、2ヶ所しかない。四条通は歩道幅に対して人通りが多いのでムリである。

通行人の一部に、「ここが事故現場か」と話す人もいた。



観光客2人を乗せて動く人力車。

引っ張る遠藤さんは、客に説明をしていたのが聞こえた。

あの一件については話していなかった模様。

興味のない人に対して、わざわざ語るようなものではありませんから。



上の花が手向けられる所から南へ少し歩き、南方向を写したもの。

追い越し…常識的に無理だ。

追い越しができるのは、電柱がないところで、どちらかに車が寄せられている場合限定だ。

件の運転手が交差点をぶっ飛ばして侵入できてしまったのは、巡り合わせで前に車がいなかったからとなる。

この道幅のまま四条通に進む。

四条通の車道までで犠牲者が5名出ているのであるが、Really?と思う以外にない。

交差点手前の一人は、完全に逃げ場がなく、不可避だったと考える以外にないが、四条通車道手前の横断歩道4名については、仮に自分が現場に居合わせたとしても間一髪セーフだったんじゃないか…と考えるしかないのである。

車高が1880mmなのは辛い、車幅は1475mmしかない。

人は、危険に直面してしまうと、とっさに回避行為に出るものである。

このケースでは避ける、逃げる…

とっさに立ち止まったり、小走りしたり、一歩引き下がる事などで、間一髪のところで無傷で済んだ人もいるように思えてならない。

だが、それは老化に伴い徐々に反応が鈍らざるを得なくなる。

四条通車道手前の横断歩道犠牲者4名の年齢は77、69、68、58である。

そのほか、ケガを負ってしまった人の年齢を見ても、ご高齢の方に偏っている気がする。

平日の、それもお昼休みが終わったばかりの13時05分が事故発生時刻なので、勤め人が少なかった

春休みが終わってすぐだったので、学生さんが少なかった

などどこじつけられなくはないが、死傷者がご高齢の方に偏っていた。

身体的な事情により、そうなったと考える以外にないのである。

#### 【個人の事情】

身重な人、赤ちゃんを背負う

骨折やねんざ等、ケガのせいで杖をつかないと動けない人

そのほか体調不良

老化に伴い体が動かなくなる

脚部に障害を負ってしまっている人

荷物を抱え過ぎ…

#### 【交通状況】

通行人が多すぎて逃げ出しようがなかった

現地に向かったのは祝日正午頃で、事故は平日午後の違いがはっきりあるので、単純には比較できないが、「通行人が多すぎて逃げ出しようがなかった」は考えにくいので、「個人の事情」が死傷者の分布に強く表れてしまったと考えられてしまう。

死傷者の年齢分布から考えられることは、

「危険回避の歩行を心がけろ」である。

運転手以外の死傷者は、交通ルールを守っているのに…と怒るだけでは、事故再発は防げない。

手を挙げて横断歩道を渡りましょう

子供相手に言う事をやっても、実効性の意味ではあまり意味がない。

左右注意して歩きましょう

これも子供相手に交通教育するような事なので、「バカにするな」と怒られそうだが、それだけで命拾いすることもあるように思えてしまう、祇園軽自動車暴走殺人事件現場だったのでした。

警察が、運転免許取得者向けにいくら教育をやっても無力だ。

運転免許を持たない人には行き渡らないんですから。

マスコミもマスコミ。

感情論で「被害者はかわいそうに可愛そうに」

(症状は発症していなかったようだが)てんかん患者は、圧力団体がうるさいからスルーしよう。

こんな論調ばかりで、事故からどう免れるかについて全くと言って構わないくらい触れられていない。

それから、捜査やらなんやらの警察 24 時の広報番組を放送させるのはいいが、新規予算いらずで「すぐに役立つ交通安全対策」を広げないのは、警察の怠慢と言わざるを得ない。通行人の交通安全対策で、極めてわかりやすい教材となる交差点死亡事故の事例なんですもの。

祇園軽自動車暴走殺人事件現場の、四条通南側はここまで。自爆に至った、北側はその 7 に続きます。



交差点・交番前から少し大和大路を北に進んだ所。  
写真中央にあるのは京都祇園郵便局だ。  
交差点北側は道幅が広く、追い越しも南側よりやりやすい。  
あの一件さえなければ、繁華街の路地を入ったところとしか考えないところだ。



大和橋のたもとにて。  
しゃがんでノートパソコンで何かしている男性に、立っている連れの男性2人組がいた。  
白いオデッセイが通行中、親子丼の名店に、割烹料理の店。  
いい感じで京都の街並みが写っている。



親子丼の店・とり新には行列があった。さすが祝日ですねエ。  
右手には木々に覆われる白川が。いい感じですねエ。





親子井屋の前あたりから、大通りの川端通までの間。  
実にいい感じです。

地元民や、少しでも京都を知る一般観光客はこの辺に足を伸ばすんだろうが、幕の内定食的な旅行しかしない人は滅多にやってきそうもない白川の一帯…つかみしか見なかったが、大変良い！

でも、広く知らしめられているところではないので、ほとんどの人はスルーして終わってしまいそうな感じ。

八坂神社と平安神宮でおなかいっぱい…とほとんどの人はなってしまうそう。

京都の中心部はなんて奥が深いんだか…そんな一端が白川の一部だけでも感じられてしまうものです。

観光ガイドでこの一帯が外される事はさすがになさそうだが、大所しか回らない観光バスではスルーされてしまいそう。

ハコ物にぶち込んで生徒を管理しようとする修学旅行では、この一帯は向かない。清水寺や平安神宮、北野天満宮、八坂神社、二条城、嵐山はコースに混ぜられても、四条河原町に脱走されかねない白川なんて…と十把一からげに処されるとわかってしまう。ましてや、河原町駅と鴨川の間で集中するファッションヘルスに行かれてしまったら、シャレにならなくなってしまう。「18歳以上で高校生ではない事」が客の条件ですから。

この項のここまでは、京都祇園の観光案内然としてしまっている。

でも、ここを突き抜ける暴走殺人事故の現場でもある。

街並みの平和さとはあまりにもかけ離れている。



暴走自動車が自爆衝突した電柱。

はも料理、ふぐ料理などを出す、割烹富久の前だ。

電柱の前では、木板を取り換える真っ最中だった。

自爆した軽ワゴンは、建物には突っ込まないで済んでいるが、事故発生時、衝撃で何やらが飛んできたため、使用に耐えない状態になったと考える以外にない。

修理作業をする工務店のオジサン二人がいるところ、軽トラックが止められているところは、軽ワゴン車が自爆し、介護福祉士が巻き添えになった現場である。

知らなければ、単なる改修作業と見過ごしてしまうが、フクザツ。



自爆当時、電柱の手前には街路灯があった。

直撃した街路灯はしっかりと撤去されていた。



撤去した街路灯の跡が、アスファルトでの穴埋めにはっきりと分かる。痛々しい。  
その一方、電柱は大したことには至らなかったようだ。すぐ手前にあった街路灯の鉄柱で  
衝撃の大部分を吸収してしまったのであろう。  
電柱の汚れ具合と言ひ、灰色シートのへたり具合と言ひ、事故があつて取り替えたとする  
ならばボロクなり過ぎですから。



セブン-イレブン京都縄手新橋店 前から。  
名探偵コナンのキャンペーン、おにぎり 100 円のキャンペーン、節電、京都銀行・滋賀銀行・南都銀行(奈良の地銀)の地元銀行キャッシュカードが使える…そんなのを書いても仕方がない。

18 歳以上 30 歳未満と推定できるスカートをはく女性(女子大生???)が歩いている…書くまでもない。

事故現場と知らなければ、修理作業現場の脇を観光客が歩いている絵図にしかならない。  
平和な京都の街中と、事故の惨劇がどうやってもかみ合わない。  
事故の痕跡なんて縁起でもないもの、残しませんから。

ましてや、うまい事スルーできる事実が集まってしまいましたから。

4/23 朝にはに無職・無免許不良少年が恐喝もどきで車を強制的に借りたところに、亀岡市の旧国道 9 号・府道 402 号で児童と妊婦胎児を居眠り運転で殺傷させる事件が起きてしまった。

4/29 早朝には、日雇い運転手が群馬県藤岡市内の関越自動車道で、運転するツアーバスを居眠り運転の挙句防音壁に突き刺し、7 人を殺す事故が起きてしまった。

そのほか、千葉県館山市、愛知県岡崎市でも居眠り運転死傷事故が発生してしまった。

大量死傷者事故とやってしまうと、12 日の祇園、23 日の亀岡、29 日の藤岡と並んでしま  
うが、居眠り事故とすればここでの事故はスルーできますから。

スルーの理由？ 過去の記事を見て下さい。

京都祇園の軽自動車暴走殺人事件については、もう何も出て来ないでしょう。  
それより、居眠り事故が再発しませんように。